

氷見市議会厚生文教委員会会議録

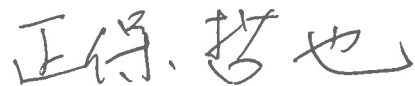
令和元年 6月25日(火)
氷見市庁舎委員会室
開会 午前 9時59分
閉会 午前11時15分

- 1 案 件 令和元年6月定例会において厚生文教委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名
正保委員長、萬谷副委員長、穴倉委員、屋敷委員、竹岸委員、積良委員
- 3 委員外議員 荻野議長、北議員、越田議員、上坊寺議員、澤田議員、谷口議員
- 4 職務のため出席した事務局職員 坂本事務局長、西島副主幹
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、小野副市長、鎌仲教育長、京田企画政策部長、藤澤総務部長、澤市民部長、大門教育次長、天坂教育総務課長、大野博物館長、中館学校教育課長、澤武教育総合センター所長、角井スポーツ振興課長、高田福祉介護課長、浦子育て支援課長、東海市民課長、出戸病院管理室長、三島環境防犯課長 ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 2人
- 7 付 託 議 案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
 - ・正保委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、議案第43号については賛成多数により、その他の案件については全会一致をもって原案を可とすることに決した。(主な質疑応答は別紙のとおり)。
 - ・委員長報告の作成は、委員長に一任され、特筆事項は無しとした。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和元年6月25日

氷見市議会厚生文教委員長



令和元年6月厚生文教委員会付託案件表

令和元年6月25日（火）午前10時
氷見市庁舎A棟2階委員会室

- ◎ 教育総務課等 ~ 10:08
 - ・ 議案第 39 号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中
 教育総務課等所管に係る事項……………説明書 P 1 4

- ◎ 学校教育課等 ~ 10:12
 - ・ 議案第 39 号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中
 学校教育課等所管に係る事項……………説明書 P 1 4

- ◎ スポーツ振興課 ~ 10:19
 - ・ 議案第 39 号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中
 スポーツ振興課等所管に係る事項……………説明書 P 1 6

- ◎ 福祉介護課 ~ 10:26
 - ・ 議案第 39 号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中
 福祉介護課所管に係る事項……………説明書 P 8
 - ・ 議案第 41 号 氷見市介護保険条例の一部改正について……………議案書 P 1 6

- ◎ 子育て支援課 ~ 10:35
 - ・ 議案第 39 号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中
 子育て支援課所管に係る事項……………説明書 P 8

- ◎ 市民課 ~ 10:48
 - ・ 議案第 39 号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中
 市民課所管に係る事項……………説明書 P 8
 - ・ 議案第 42 号 氷見市国民健康保険税条例の一部改正について……………議案書 P 1 8

- ◎ 病院事業管理室 ~ 11:08
 - ・ 議案第 43 号 氷見市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について…議案書 P 1 9
 - 報告案件 市民病院の決算状況について

- ◎ 環境防犯課 ~ 11:13
 - ・ 議案第 39 号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第2号）中
 環境防犯課所管に係る事項……………説明書 P 1 0

（注）一般会計における繰出金、人件費、財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

主な質疑応答

| | |
|--|--|
| <p>教育総務課等 萬谷委員</p> <p>天坂課長</p> <p>萬谷委員</p> <p>天坂課長</p> <p>積良委員</p> <p>天坂課長</p> <p>積良委員</p> <p>天坂課長</p> | <p>市民会館解体事業費について。周りの住民の方々に対する説明会等の予定は。</p> <p>先週20日に朝日丘地区の自治振興委員の方々が集まる定例会議の場でまず説明させていただき、対象地域の方々には7月下旬または8月上旬に説明会を開催したい旨をお伝し、そのように今予定している。</p> <p>影響調査を行うというが、アスベストも含めて調査するということ。</p> <p>その点も含めて調査を行った上で、解体に関する経費を積算する。</p> <p>更地にだけするという考えか。</p> <p>そうである。</p> <p>その後にランドデザインで示されたものを造られると思うが、それまで空いているなら駐車場として使う考えはないか。</p> <p>検討したい。</p> |
| <p>学校教育課等 萬谷委員</p> <p>澤武所長</p> | <p>「心のケア」推進事業費について。今回は北部中学校と比美乃江小学校だけで全小中学校にしていいただきたいが、他の学校はどうされるのか。</p> <p>必要に応じて北部中学校と比美乃江小学校を指定させていただいた。もちろんほかの学校でもこの危険性やSNSのモラル等の啓蒙は引き続き行っていく。</p> |
| <p>スポーツ振興課 萬谷委員</p> <p>角井課長</p> <p>萬谷委員</p> <p>角井課長</p> | <p>スポーツによるまちづくり推進事業費について。市内の若い女性や首都圏の女子大生に対してどのようなアプローチを考えているか。</p> <p>市内の若い女性については、高校の体育は男女別々にやっていることから氷見高校の生徒を想定している。首都圏の女子大生については、共同開発した世界ゆるスポーツ協会のルートを通じた女子大生へ紹介していきたい。</p> <p>ハンギョボール以外でスポーツ振興のためのすることは。</p> <p>健康や美を誘ってスポーツにいざなうヒミ・ビズム・プラスという事業があって、20代から40代の女性をターゲットに託児所を用意しながら</p> |

| | |
|--|--|
| <p>萬谷委員</p> <p>角井課長</p> | <p>6回の講座を開催している。今年で3年目で徐々にリピーターや新規の方が増えている。</p> <p>ハンギョボールを開発して3年目ということで浸透具合の実感は。</p> <p>春中ハンドのオープニングで参加するチームの関係者で全国大会をさせていただいた。NHKを中心に取材先行となっているが、今年の事業で2セット購入して4セットになるので、市内や首都圏でPRしていく。</p> |
| <p>福祉介護課 積良委員</p> <p>高田課長</p> <p>積良委員</p> <p>澤市民部長</p> | <p>老人休養ホーム運営事業費について。寿養荘の昨年度年間利用者数は。</p> <p>12,810人で前年度より800人ほど減少している。</p> <p>今後、寿養荘をどのように考えていかれるか。</p> <p>ご指摘のようにだんだん利用者も減っていくし、老朽化も著しいことから従前に見直しに向けた検討もされた経緯がある。今後は、高齢者の居場所づくりの意味でも場所の確保を考えていかなければならない。一方で維持管理に向けた財政的な問題もあるので、いろんな角度から慎重に検討し、方向性を出していくべきだ。</p> |
| <p>子育て支援課 穴倉委員</p> <p>浦課長</p> <p>屋敷委員</p> <p>浦課長</p> <p>屋敷委員</p> | <p>放課後児童対策事業費について。増えた受入児童の数は。</p> <p>上庄校区児童育成クラブが43人から45人に、仏生寺っ子広場が19人から26人に増加した。</p> <p><案件外>放課後児童育成クラブ内での安全対策について 放課後児童育成クラブ内での安全対策はどうなっているか。</p> <p>児童の来所、帰宅時の安全対策については、平成30年6月22日の登下校時の子どもの安全確保に関する関係閣僚会議において決定した「登下校防犯プラン」に基づいて児童の安全確保に努めるようお願いしてきている。</p> <p>また、不審者や災害時等に関する防犯対策については、児童育成クラブ毎に安全マニュアルを作成し、これに備えるようお願いしてきている。</p> <p>スタッフの9割以上が女性なので、そのことをぜひ考慮して安全対策をしていただきたい。</p> |
| <p>市民課 穴倉委員</p> | <p>氷見市国民健康保険税条例の一部改正について。賦課限度額が3万円アップとなる世帯数は。</p> |

| | |
|---------|--|
| 東海課長 | 25世帯である。 |
| 萬谷委員 | コンビニ交付サービス事業費について。マイナンバーカードの交付率はどうなっているか。 |
| 東海課長 | 5月末現在で16.46パーセント。北信越第1位を保っている。 |
| 萬谷委員 | 啓発活動の取り組みは。 |
| 東海課長 | さらに上げるには、マイナンバーカードを持つことにメリットを感じていただけるような、交付率アップにつながる事業を実施する必要がある。現在、庁内で横断的に検討している。 |
| 病院事業管理室 | <報告案件>市民病院の決算状況について |
| 萬谷委員 | 患者数は横ばいのようなのだが、もっと増やすにはどういった努力が考えられるか。 |
| 出戸室長 | 現在市民病院で努力されている医師の確保、診療科の充実といったことの内容についてしっかり市民の皆さんにお知らせする。また、健康寿命の延伸という観点から人間ドックの充実を図っていただいていることもPRしながら、しっかりと市民の医療を守っていきたい。 |
| 萬谷委員 | 市内の開業医との連携は。 |
| 出戸室長 | 地域医療を守るためには中核である氷見市民病院だけではなくて、開業医との連携が大切である。今後、一層取り組めるように市としても一緒にやっていきたい。 |
| 穴倉委員 | 管理運営委員会では市として腕の立つ外科医を配置してほしいという要望はされているのか。 |
| 出戸室長 | 金沢医科大学に対してはこれまでも医師の確保についてお願いしてきた。全国的に医師の地域及び診療科の偏在性というのがあると言われている中、何とか氷見市民病院へ回してほしいとお願いしている。 |
| 穴倉委員 | もし市民の信頼に足る、命を預けられる病院でなくなって赤字がどんどん増えていった先には、20年間の今半分を経過したが、途中で指定管理者と決別することはできるのか。 |
| 出戸室長 | この地域医療が永遠に確保できるようにとお互いに努力しているのご理解いただきたい。 |

| | |
|---------------|--|
| 穴倉委員 | <p>ということは、どのようなことがあろうと20年間の契約は守らなければならないという考えでやっているということか。</p> |
| 出戸室長 | <p>協定の中身の前にお互いにその責務があるということ。お互いに途中でということはないと思っている。</p> |
| 積良委員 | <p>昨年度は循環器内科の医師が少なかった。麻酔科の医師が充足していなかった。本年度それをテコ入れされて、この4月、5月の患者数の動きはどうなっているか。</p> |
| 出戸室長 | <p>4月にいくつかの科で医師が確保できたのだが、それが浸透していない。今のところ前年度並みで推移している。医師が確保できたところについては今後効果が出てくると思われる。</p> |
| 積良委員 | <p>急に医者が増えるというものではない。それが浸透して、その医者が地域に根差していただけるか、市内の診療所の皆さんといかにして連携できるか、それらをしっかりとやっていくことが市民病院の経営にも生かされてくるのではないか。</p> |
| 正保委員長 | <p>もう一つは、診療報酬が下がっていく、消費税が上がっていく、それによってまた経営が苦しくなっていくという現状をしっかりと見据えた経営戦略を医科大と考えていただきたい。</p> |
| 正保委員長 | <p>市民病院の公設民営化を決断したのは、赤字経営から脱却できず、毎年、一般会計から巨額の繰り入れが必要で、このまま続けば市本体も危ういという状況から地域医療を守るため、職員の理解と協力を得て指定管理者制度へと移行した経緯がある。</p> <p>自治体病院には、不採算部門を抱えるという宿命があるにせよ、県内では黒字の病院もあるので、その要因を分析することも必要である。</p> <p>いずれにせよ、直営時代に戻るような巨額の財政支援は認められるものではないので、持続可能な病院経営に向けた双方のふさわしい負担のあり方について十分協議の上、我々議会としても納得できるような提案を期待する。</p> |
| 環境防犯課 積良委員 | <p>エネルギー構造高度化実証事業費について。今年検証して、効果があれば次年度以降もされるというが、次年度も国の財源を見込めるのか。</p> |
| 三島課長 | <p>来年度以降もこの補助金を活用していきたい。3年間の補助金と聞いている。</p> |

個人別賛否一覧（賛否が分かれた議案のみ）

| 案件名 | | 自民同志会 | | | | | 無会派 |
|--------|----------------------------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|
| | | 屋敷 夕貴 | 萬谷 大作 | 正保 哲也 | 竹岸 秀晃 | 積良 岳 | 穴倉 陽子 |
| 議案第43号 | 氷見市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | — | ○ | ○ | × |

※「○」は賛成 「×」は反対 「退」は退席 「欠」は欠席

※委員長は表決に加わらないため「—」と表示してあります。